

# 陶芸講座



講師参考作品（左:伊羅保釉 右:白マット釉）

## しのぎの器 カップ&ソーサー

全2回  
2024 8 / 24 土・31 土

各日10:30~12:30



まなびあ  
テラス

信楽の白土粘土でカップとソーサーを1セット作ります。シンプルで美しい稜線模様「しのぎ」を入れた器を作ってみませんか。

※釉薬は、白マット釉・伊羅保釉（<sup>いらぼ</sup>ツヤなし/薄茶色）・飴釉（ツヤあり/濃茶色）の3種類からお選びください。  
※器の表面に「しのぎ」の技法で凹凸のある稜線模様を施したり、取っ手やカップの底部分にスタンプで模様を入れても◎  
※作品の引き渡しは、10月12日頃を予定しています。

### 講師

陶芸作家

武田 千秋（「千陶房」主宰/山形市）



会場 まなびあテラス アトリエ

対象 2回とも参加できる18歳以上の方

定員 7名（申込多数の場合は抽選となります）

参加費 2,000円

持ち物 エプロンまたは汚れてもいい服装

### 問い合わせ

東根市公益文化施設まなびあテラス  
東根市市民活動支援センター  
〒999-3730 山形県東根市中央南1丁目7-3  
☎0237-53-0230 ✉info@manabiterrace.jp

申込みについては  
ウラへ



# しのぎの器 カップ&ソーサー

## 第1回

カップは手びねり(紐づくり)、ソーサーはたたらづくりで縁を持ち上げて成形します。

## 第2回

カップの高台(こうだい)を削り出し、取っ手を作り接着します。好みでしのぎを施します。

### 陶芸 技法

**紐づくり** : 手ろくろの中央に丸めた粘土を押し付けてカップの底部分を作り、その淵にひも状にした粘土を巻き積み上げながら整えて成形していく方法。

**たたらづくり** : 粘土を板状にして均一な厚みを利用して成形する方法。伸ばした粘土の両端に同じ厚さの板(たたら板)を置き、板に沿って粘土を切ります。

**しのぎ** : 面取り技法の一つで、日本の伝統的な装飾技法。成形後の乾燥した器の表面を彫刻刀やへらなどで削り、凹凸のある稜線模様を刻みます。

## 講師プロフィール

陶芸作家

武田 千秋 たけだ ちあき

山形市生まれ。東京学芸大学美術科卒業後、笠岡・信楽にて陶芸を学ぶ。1999年山形市にて独立。以降、市内に構えた工房「千陶房(せんとうぼう)」にて活動を続けている。



## 成果展示

9月27日(金)~10月10日(木)の期間、エントランスホールに参加者の作品を展示します。作品の引き渡しは展示終了後、10月12日(土)以降となります。ご了承ください。

## ●ご自分の作品に釉掛けしてみませんか?●



9月21日(土)10:00~12:00・アトリエ

講師指導のもとで釉掛けと窯入れを行います。電気窯の基本的な使い方についてのレクチャーも行いますので、参加ご希望の方は、申込み時にお申し出ください。

## お申込み方法・抽選結果について

電話 0237-53-0230 または総合案内カウンターにて。

【募集期間：7月10日(水)~31日(水)】

※抽選になった場合、参加決定者には8月2日(金)に電話にてご連絡いたします。抽選から外れた方にはご連絡いたしませんので、ご了承ください。

- ・まなびあテラスの講座料金は、東根市の文化推進の為に参加費の一部を当館にて助成している為通常の料金設定とは異なる場合がございます。
- ・講座中の作業状況などを写真・動画で撮影し、まなびあテラスの広報に利用する場合があります。
- ・申込みの際に得た個人情報は、本講座運営上の目的以外で使用することはありません。